

## 協議事項(4)

### 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

#### 1 主旨

ふれあいバス印旛・本柵支所ルートにつきましては、国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金の交付を受けて運行しておりますが、令和2年度（補助期間：令和元年10月1日～令和2年9月30日の1年間）の事業が終了したため、事業評価を行い、その評価結果を、令和3年1月末日までに、関東運輸局へ提出することとなっていることから、本交通会議において、提出書類の承認をいただくものです。

#### 2 関東運輸局への提出書類

- ・【別添1】 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）
- ・【別添1－2】 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について
- ・【別添2】 事後評価ポンチ絵
- ・添付資料
  - 印西市バスMAP
  - 印旛・本柵支所ルート運行経路図
  - 印旛・本柵支所ルート実績データ（利用者数、収支等）
  - 本柵支所停留所 利用状況報告
  - 本柵支所停留所を結節点としてみた場合のネットワーク図

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月 日

協議会名:印西市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ちばレインボーバス株式会社	<p>コミュニティバス(ふれあいバス)</p> <p>運行系統:印旛・本埜支所ルート(印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所)</p> <p>31.8km</p> <p>運行日:毎日運行</p> <p>運行時間帯: 7時25分～18時27分</p> <p>運行本数:7便/日(循環型)</p> <p>運行車両:1台</p> <p>運賃:大人(中学生以上)100円</p> <p>※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料</p>	<p>前回の事業評価では、目標値である利用者数65人/日が達成された。今後は、印旛支所ルートを含めた周辺地域のさらなる利便性向上を図るため、これまで乗り入れていなかった本埜支所へルート延伸を行い、「印旛・本埜支所ルート」に名称を改めることとし、令和元年10月1日に実施した。これによって、本埜支所停留所では、ふれあいバス東ルート、六合路線、乗合タクシースワン号と乗り継ぎが可能となった。</p>	A <p>印旛支所や日本医大千葉北総病院が立地する印旛日本医大駅エリアと、住宅が集積し大規模な商業施設が立地する印西牧の原駅周辺エリアを結び、荒野・竜腹寺地区や本埜支所を経由することにより、交通不便地域の解消を図ることを目的に、計画どおり実施された。</p>	C <p>結果:1日 46.43人</p> <p>・前年度に比べ、利用者数が大幅に減少し、目標人数80人/日は達成できなかった。</p> <p>・これはルート見直しとダイヤ改正を行ったところに、新型コロナウイルス感染症の拡大が重なったことにより、大幅な利用の減少となったものと考えられる。</p> <p>・しかしながら、本埜支所停留所の利用は増えており(資料参照)、交通不便地域への対応と地域住民の移動手段の確保に向けた取り組みを図ることができた。</p>	<p>・目標利用者数を下回った要因としては、認知度、ルート延伸に伴う減便、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る必要がある。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月 日

協議会名:	印西市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>印西市は、平成22年3月の印旛村及び本埜村との合併により市域が広がり、市内のバス交通は、その合併前の公共交通を引き継いだところに、新たなコミュニティバス路線や乗合タクシーを増設するような形で、現在の公共交通網が形成されている。そのため、市域全体を見つめ直した、効率的・効果的な公共交通網の形成を目指すため、地域公共交通計画の策定作業を進めているところである。</p> <p>当該交通不便地域である荒野・竜腹寺地区については、地域の高齢化が進んでおり、自家用車を持たない高齢者等の移動は困難な状況である。今後は、公共交通の必要性が一層高まるものと考えられ、地域公共交通計画の策定と併せて、地域住民が利用しやすく、財政負担の少ない、持続可能なバス交通の構築を目指す必要があるため、生活交通確保維持改善計画を策定したものである。</p>

# 令和2年度 印西市地域公共交通会議 (千葉県印西市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

【別添2】



## 地域の公共交通等の現況

印西市の公共交通は、市の中央部を北総線・成田スカイアクセスが、市の北部をJR成田線が、それぞれ東西に走り、東京都心や羽田空港、成田空港などに連絡し、広域的なアクセス機能を果たしている。また、当該路線と接続する路線バス16路線、コミュニティバス6路線などによって、市内公共交通網が形成されている。こうした中で、市内には「交通不便地域」が点在しており、その解消に向けた路線バスや乗合タクシーによる実証運行も現在行っている。当該補助対象路線を運行している、荒野・竜腹寺地区についても交通不便地域であり、ふれあいバス印旛・本埜支所ルートの実証運行により、その解消を図っているところである。

## 交通計画の目指す概要／地域公共交通に関する施策・取組の概要

バス交通においては、民間路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」の路線に重複区間が多いこと、運賃が不均一なこと、バス運行の速達性や利便性を確保していくことなど、幅広い課題を抱えている状況である。これらの課題を解決し、地域公共交通の効率化と充実を図り、市民の利便性確保に向けた市域全体の公共交通網の見直しを検討していくことが必要であるため、「だれもが、公共交通ネットワークを利用して、便利で気軽に市内・市外に移動ができるまち」を目的に、効率的・効果的な公共交通網の形成を目指し、地域公共交通計画の策定作業を進めている。

## 交通施策として実施した事業の全体像の概要

- ・コミュニティバス「ふれあいバス」の運行を、ちばレインボーバス(株)に委託している。東ルート、中ルート、西ルート、南ルート、布佐ルート、印旛・本埜支所ルートの全6ルートを運行。
- ・路線バス運行対策事業補助金として、市内の主要なバス路線(六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線)に対して、補助金を交付。
- ・旧本埜第二小学校周辺地域には、乗合タクシー「スワン号」の実証運行を、師戸地区には、路線バス「宗像路線」の新ルートの実証運行を、それぞれ実施している。

## 補助対象事業の概要

公共交通不便地域(荒野・竜腹寺・本埜支所方面)と需要が見込める地域(若萩、舞姫、牧の原)を經由する印旛・本埜支所ルートを運行する。これにより、印旛支所や日本医大千葉北総病院が立地する印旛日本医大駅エリアと、住宅が集積し大規模な商業施設が立地する印西牧の原駅周辺エリアを結び、荒野・竜腹寺地区や本埜支所を經由することにより、公共交通不便地域の解消を図る。

### 【コミュニティバス「ふれあいバス」】

事業者名:ちばレインボーバス株式会社  
 運行系統:印旛・本埜支所ルート(印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所 31.8km)  
 運行日:毎日運行  
 運行時間帯:7時25分～18時27分  
 運行本数:7便/日  
 運行車両:1台  
 運賃:大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料

面積	123.8 km <sup>2</sup>	
人口 (R2.12.31時点)	12月 末の 最新デ ータを 後日記 載	人
15歳未満		人
65歳以上		人
高齢化率		
世帯数		世帯

## 交通計画の策定年月日

令和2年度策定予定

## 協議会開催状況

○協議会の開催状況 2回開催

- ・第1回(7月2日)  
ネットワーク計画を協議
- ・第2回(12月24日)  
事業評価について

## 前回の事業評価結果の反映状況

前回の事業評価では、目標値である利用者数65人/日が達成された。今後は、旧印旛支所ルートを含めた周辺地域のさらなる利便性向上を図るため、これまで乗り入れていなかった本埜支所へルート延伸を行い、「印旛・本埜支所ルート」に名称を改めることとし、令和元年10月1日に実施した。これによって、本埜支所停留所では、ふれあいバス東ルート、六合路線、乗合タクシースワン号と乗り継ぎが可能となった。

## 定量的な目標・効果

### 【評価指標・目標値】

1日当たり利用者数を80人以上とする。

### 【当該指標・目標値を設定した理由】

需要の見込める印旛日本医大駅エリアと印西牧の原駅周辺エリア間の運行だけでなく、本埜支所において、ふれあいバス東ルート、六合路線、乗合タクシースワン号と乗り継ぎが可能となったことにより、さらなる利用者増を目指したため。

### 【効果】

当該路線を維持することにより、交通不便地域(荒野・竜腹寺地区や本埜支所周辺の地域)の移動手段が確保され、移動が困難な高齢者等の利便性が向上する。

## 目標・効果の達成状況

【指標①】実績: 1日当たり利用者数 46.43人

### 【目標を達成できなかった要因(分析)】

- ・1日当たり利用者数については、前年度72.45人/日から46.43人/日と、約36%の大幅な減少となった。
- ・当年度の期間を区切って分析すると、見直しを行った直後の令和元年10月～令和2年1月は、前年比で2割減の約80%の利用状況であった。新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言も発出された令和2年2月～6月は大幅に利用が減り、前年比で3～6割減となる約40%～70%の利用状況であった。その後、令和2年7月以降については、前年比で約60%～70%の利用にとどまっている状況である。
- ・通常であれば、見直しを行った直後の利用者減から、徐々に利用者が増加することが想定されるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、路線全体の利用は戻らない状況である。また、交通不便地域の荒野、竜腹寺地区の利用者も、前年比で約4割減となっている。
- ・しかし、新設した本埜支所停留所の利用状況を見ると、コロナ後の利用が増えており、周辺地域の利用が喚起されていると考えられる。

### 【効果】

- ・公共交通不便地域(荒野・竜腹寺や本埜支所周辺地域)の解消が図れた。

## アピールポイント

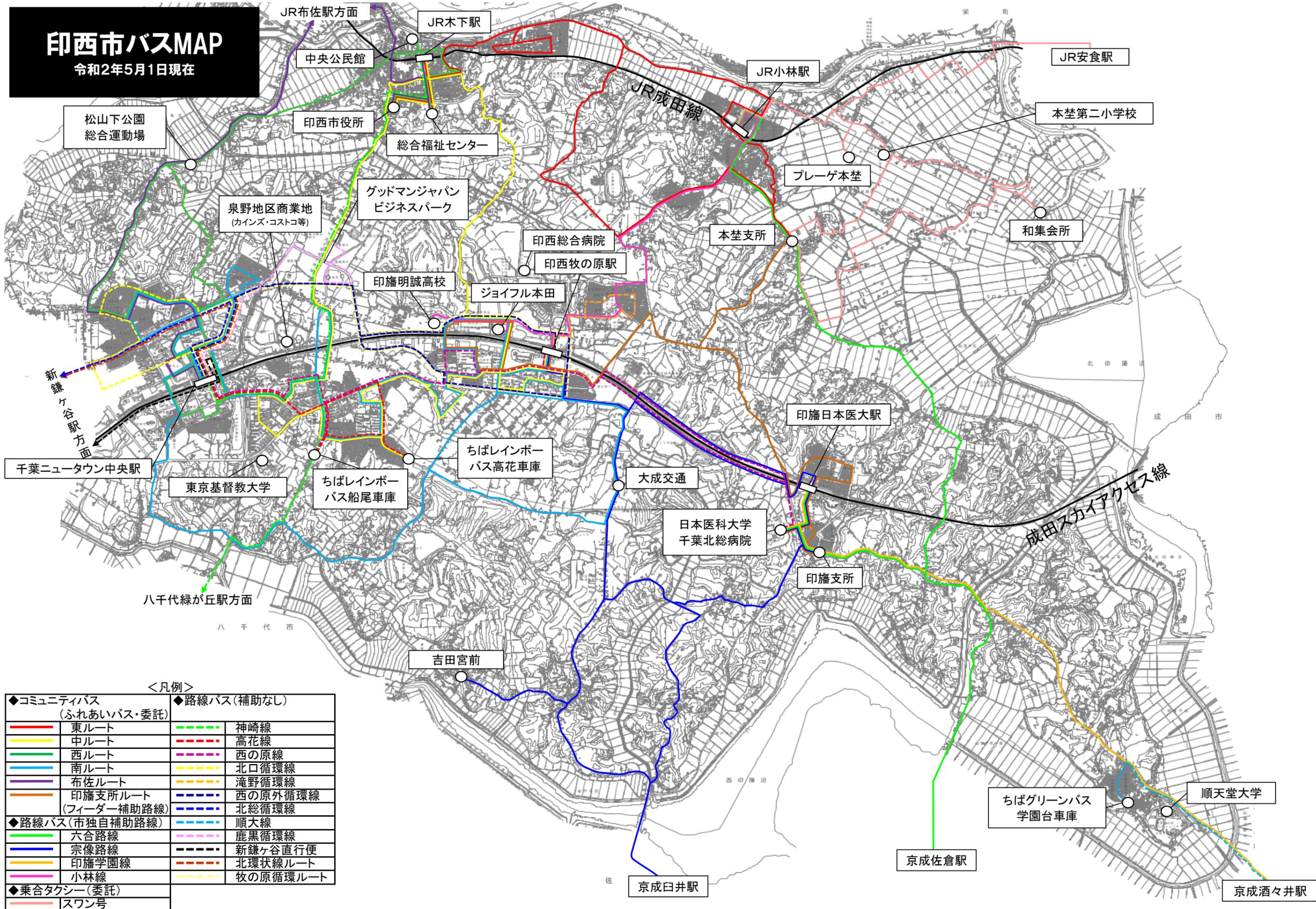
- ・交通会議において、市民代表委員等から意見をいただきながら、利便性向上策を検討した。

## 今後の改善点

- ・目標利用者数を下回った要因としては、認知度、ルート延伸に伴う減便、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る必要がある。
- ・特に交通不便地域の荒野、竜腹寺地区や、本埜支所からの利用者(東ルート、六合路線、スワン号との相互乗換利用者)を増加させ、少しでも路線の採算性を上げ、持続可能な路線となるよう、努める必要がある。

# 印西市バスMAP

令和2年5月1日現在

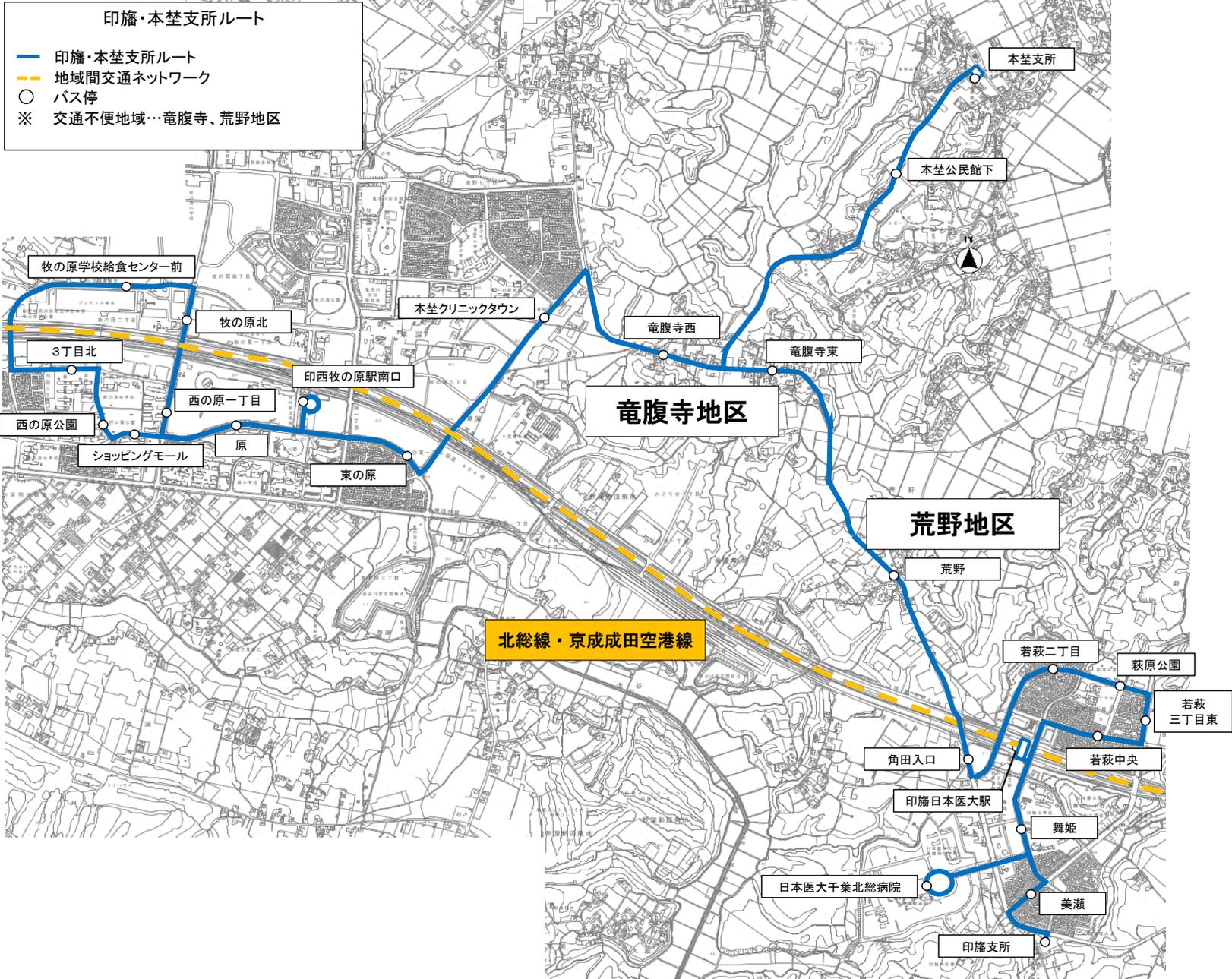


<凡例>

◆コミュニティバス (ふれあいバス・委託)	◆路線バス(補助なし)
— 東ルート	— 神崎線
— 中ルート	— 高花線
— 西ルート	— 西の原線
— 南ルート	— 北口循環線
— 布佐ルート	— 滝野循環線
— 印旛支所ルート (フィーダー補助路線)	— 西の原外循環線
◆路線バス(市独自補助路線)	— 北総循環線
— 六合路線	— 順大線
— 宗像路線	— 鹿黒循環線
— 印旛学園線	— 新鎌ヶ谷直行便
— 小林線	— 北環状線ルート
◆乗合タクシー(委託)	— 牧の原循環ルート
— スワン号	

印旛・本埜支所ルート 運行経路及びバス停位置

- 印旛・本埜支所ルート
- 印旛・本埜支所ルート
  - - 地域間交通ネットワーク
  - バス停
  - ※ 交通不便地域…竜腹寺、荒野地区



印旛・本埜支所ルート実績データ

年月	運行日数	運行経費	運賃収入	利用者数	1日あたり
R1年10月	31	1,774,812	141,000	1,688	54.45
R1年11月	30	1,717,560	138,750	1,853	61.77
R1年12月	31	1,774,812	144,340	1,846	59.55
R2年1月	31	1,774,812	124,730	1,637	52.81
R2年2月	29	1,660,308	114,760	1,523	52.52
R2年3月	31	1,774,812	97,035	1,320	42.58
R2年4月	30	1,778,010	72,777	857	28.57
R2年5月	31	1,837,277	55,270	786	25.35
R2年6月	30	1,778,010	82,090	1,107	36.90
R2年7月	31	1,837,277	62,090	1,481	47.77
R2年8月	31	1,837,277	60,330	1,423	45.90
R2年9月	30	1,778,010	69,560	1,474	49.13
計	366	21,322,977	1,162,732	16,995	46.43

1日あたり 46.43

本埜支所停留所 利用状況報告

年月	本埜支所(印旛・本埜支所ルート)			本埜支所(東ルート)		
	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計
令和元年10月	21	23	44	6	8	14
令和元年11月	43	34	77	8	19	27
令和元年12月	56	27	83	10	10	20
令和2年1月	58	28	86	15	23	38
令和2年2月	58	41	99	10	25	35
令和2年3月	63	32	95	18	25	43
令和2年4月	28	31	59	5	16	21
令和2年5月	25	20	45	7	22	29
令和2年6月	49	36	85	6	10	16
令和2年7月	66	46	112	18	18	36
令和2年8月	52	38	90	11	18	29
令和2年9月	67	41	108	11	21	32
	586	397	983	125	215	340

年月	六合路線			スワン号		
	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計
令和元年10月	8	6	14	2	2	4
令和元年11月	13	7	20	1	1	2
令和元年12月	6	7	13	0	3	3
令和2年1月	11	5	16	0	0	0
令和2年2月	9	3	12	0	0	0
令和2年3月	6	6	12	0	1	1
令和2年4月	1	3	4	0	0	0
令和2年5月	2	1	3	0	0	0
令和2年6月	3	6	9	1	0	1
令和2年7月	6	3	9	0	0	0
令和2年8月	5	3	8	2	0	2
令和2年9月	5	2	7	0	0	0
	75	52	127	6	7	13

本埜支所停留所を結節点としてみた場合のネットワーク図

